

1. ^{14}C -Thymidine および ^{14}C -Glycine 投与による妊娠ラット 2, 3 の臓器内核酸への Incorporation について

—とくにHCG投与による変動—

柳沢和孝 久江清一
(金沢大学 婦人科)

HCG 投与により, target organ である卵巣の変化が他の関連 organ にいかに影響するか, とくに胎盤における影響をみる目的で, 核酸また一部タンパク代謝の面から観察した. 非妊および妊娠各期ウィスター系ラットに HCG を 5 日間投与したもの, 非投与のものに ^{14}C -Thymidine, ^{14}C -Glycine を各 $2.5\mu\text{Ci}/100\text{g}$ 体重投与し 3 時間後に臓器摘出を行ない, Schneider 法により抽出し, 各臓器 radioactivity を scintillation counter で測定した. Thymidine ではとくに incorporation の高い臓器はみられず HCG の影響も少であった.

Glycine の核酸分割は, 妊娠群で, 胸腺は減少卵巣は増加を示し, HCG により増加した. 胎盤では妊娠中期に peak がみられ中期に活性予備能の存在を示し, HCG により中期後期とも減少した. タンパク分割では, 卵巣は妊娠で増加, HCG 投与でも増加を示し, 胎盤は妊娠中期が peak で, HCG により中後期とも減少を示した.

以上の結果は HCG が卵巣に働き Estrogen を分泌させ, それが胎仔胎盤系に影響するか, HCG が直接胎盤に影響したとも考えられる.

胎盤に HCG を投与し核酸分割およびタンパク分割に減少のみられたのは, 外からの HCG 投与がかえって胎盤の機能低下を起こしたものと考えられる.

*

2. Extrathyroidal ^{131}I Distribution (第 2 報)

立野育郎 加藤外栄
(国立金沢病院 特殊放射線科)

甲状腺機能亢進症の患者に ^{131}I の治療量を投与すると, 肝に放射能のみとめられる症例群がある. これらの集積群のレジンスポンジアップテークは平均 51.7%, 基礎代謝率は平均 46.4% で, いずれも非集積群よりも高く, 甲状腺アップテークには両群に有意の差を認めがたく, 血清総コレステロールは平均 128.5mg/dl で非集積群よりも低い. 赤沈, 血清タンパク, A/G 比, GOT, GPT などの値は両群ともほぼ正常であるが, アルカリフォス

ファターゼ値は集積群においてやや高く平均 13.0 単位を示している. 肝集積のピークは ^{131}I 投与 3~5 日後に認められ, 明瞭な肝シンチグラムをうることができ, 有効半減期は約 5 日であり, 胆汁内に放射能を認める.

甲状腺癌で, 手術後, ^{131}I シンチグラムで頸部転移が認められた 1 例では, ^{131}I の大量投与で肺に著明な ^{131}I の集積を認め, 両肺の明瞭なシンチグラムをえた. これは, 同例の ^{131}I -MAA によるスキニングのパターンと一致し, しかも正常像である. この症例は約 2 年の経過観察をしているが, 胸部 X 線像ならびに臨床所見等からは転移の徴候が認められず, しかも ^{131}I の肺集積を示した. 肺集積のピークは ^{131}I 投与 2 日後に認められ, 有効半減期は 5 日であった.

質問: 平松 博 (金沢大学放射線科) われわれのところでも, 甲状腺癌, 肺転移の患者で転移巣は肺野ではほとんど X 線学的には証明されないにもかかわらず, 肺野に均等な濃い打点を認めたものを経験している. X 線学的に認められない微小病巣が撒布しているためか, 肺胞がヨード代謝を代償しているのか不明であった. 本例について精査追求をお願いしたい.

答: 立野育郎 本例では X 線学的にまったく病巣が認められず, しかも全肺野に均等に ^{131}I の分布をみとめるので, 果たして転移であるのか, ヨード代謝の代償なのか不明であるが, できうるかぎり follow したいと考えている.

質問: 久田欣一 (金沢大学中央放射線部) ①肺が描画された症例の肺のバイオプシーを期待している.

②肺の描画される理由をどう考えられるか.

答: 立野育郎 ①できればそうしたいと考えている.

②血中の甲状腺ホルモンの濃度が高いと, 肝に蓄積するものと推定している.

*

3. トリオソルブテスト値と ^{131}I 摂取率の統計的観察

横山 弘 古本節夫
正谷 健 宮越和子
(富山県立中央病院)

自験例男子 38, 女子 190 例の T_3 -test 値と ^{131}I uptake の相関係数を算出し, その相関を検討した. 男子 38 例の相関係数 r (以下 r とする) は 0.41 と推計学的にやや相関ありといえた. 女子 190 例の r は 0.26. T_3 -test 値 (以下